

インフォメーション

ひとりで悩まないで

女性相談は

次のようなことの相談を受けています。

- ・ 自分自身の生き方について
- ・ 離婚や暴力などパートナー（夫や恋人）との関係について
- ・ 子育て、介護に関すること
- ・ 親やきょうだい、子どもなど家族との関係
- ・ 職場の人間関係やセクシャルハラスメント

その他、困っていること…なんでも

うまく話せなくても大丈夫。話すというのは自分の気持ちに向き合う作業でもあります。話していくうちに気持ちが整理されて「自分がどうしたいか」がはっきりしてくるものです。

相談員は、あなたが自分自身のおかれている状況を見つめ直し、今後、自分の意思でいろいろな選択をしていけるようお手伝いしていきます。

関連する情報を知りたい、適切な専門機関を探したいという場合にも是非相談してみてください。

相談無料

西東京市女性相談

* 悩みなんでも相談 042-450-0222

月・火 午前10時から午後4時
(午後1時から2時は休み)

木 午後3時から8時

金 午前10時から午後4時
(正午から午後1時は休み)

* カウンセリング 042-450-0222

水 午後3時から8時

土 午前10時から午後4時
(正午から午後1時は休み)

* 相談員は女性です。秘密は厳守されます。

* いずれも予約優先。詳細はお問合せ下さい。

* 問合せ先 生活文化課男女平等推進係
電話 042-450-0055

編集後記

◆ 自然環境の厳しい北欧の国には、人々の暮らしやすい環境が整っていることを知りました。女性と男性が尊重し合い、分け合うことで支えあえる社会が創り上げられたのでしょう。女だから男だからにこだわらない双方にとって生きやすい社会を目指し、unlearnして私にできることを考えています。(加藤 真理)

◆ 前号は編集会議に出るだけで精一杯。今回はもう少し編集という意味を理解したいと思いつつも、おんぶにだっこ状態。けれど、私にとって、エガール編集はとても有意義な人生勉強。(柴田 由美子)

◆ アルバイトでやきとりを焼いています。「焼きの仕事をしたい、したくて入った」と言うと、男女ともに驚かれます。「女の子なのにすごいね」と言われます。焼かせてはもらえますが、理想の配置は「女がホール(給仕)、男が焼き」だそうです。(増田 有莉)

Vol.19
2007年12月

エガール

企画・編集 エガール編集委員会
発行 西東京市生活環境部生活文化課
〒188-0011 西東京市田無町4-15-11 西東京市民会館内
電話 042-450-0055 FAX 042-450-0050
編集委員/加藤真理・柴田由美子・増田有莉
デザイン・印刷/(株) 御幸印刷

R100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

○ご意見、ご感想をお寄せください。
エガールは西東京市のホームページからも
ご覧いただけます。
<http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

「エガール」VOL.19 アンケート

今後の編集の参考にさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。(○をお願いします)

1. エガールをどこで入手しましたか
①田無庁舎 ②保谷庁舎 ③その他()
2. エガールをご覧になるのは
①初めて ②2～5回目 ③6～10回目
④11～15回目 ⑤それ以上 ⑥1号からずっと
3. 今回の内容で関心のあった記事はどれですか
(いくつでも)
①特集 ジェンダーを読むー本からのメッセージ
②男女平等参画推進計画実績評価報告
③整いつつある法律
④BOOK紹介 ⑤インフォメーション
4. ご感想や今後取り上げて欲しい内容があれば、
ご記入ください。

5. あなたの性別は ①女 ②男
6. あなたの年代は ()代

ご協力ありがとうございました。